

一般講演の演者の方へお願い

発表スライドの作成と発表の要領

1. スライド作成方法

- 1) 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみです。
- 2) 発表スライド作成に使用するコンピュータのOSはWindows 8以降とし、プレゼンテーションソフトウェアとしてMicrosoft PowerPoint 2010~2021、PowerPoint (Microsoft 365)の使用を推奨いたします。
- 3) 発表スライドは横スライドで、サイズは標準(4:3)で作成して下さい。
- 4) 文字フォントはWindows 8以降のOS標準フォントをご使用下さい。標準フォント以外では正しく表示されない場合があります。
- 5) Microsoft PowerPoint 2010 または 2013 で作成した発表スライドは、プレゼンテーション形式(拡張子.pptx)で保存して下さい。Microsoft PowerPoint 2007 より古いバージョンで作成したスライドはMicrosoft PowerPoint Viewerをダウンロード(無料)して画面を確認して下さい。
- 6) 動画によるトラブルには対処いたしません。
- 7) 音声出力は対応いたしません。

2. 発表方法

- 1) 各会場にはプロジェクター1台、HDMI端子および切替器を用意いたします。
- 2) 発表される方は、ご自身のコンピュータ(Windows, Mac)を持参して下さい。内臓メモリー(RAM)は最低4GB以上を推奨いたします。Macの一部機種など、変換コネクタが必要な機種をお持ちの方は、必ず、変換コネクタをご自身でお持ち下さい。
- 3) コンピュータとともに、必ず電源ケーブルをご持参下さい。
- 4) 発表の60分以上前に受付(5階ロビー)および試写(3階ホワイエ)を行って下さい。受付後は、名札を必ず着用して下さい。試写終了後に、配布されたシールに演者の名前を記入して、PCに貼って下さい。また、PCのスリープ設定を解除していることを確認して下さい。
- 5) 発表をすみやかに開始できるよう、発表データはデスクトップ画面上に保存して下さい。
- 6) 発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。
- 7) コンピュータは、発表ファイルを開いた状態にし、ご自身の発表2題前に各会場内演台横のPC係席へご自身でお持込みいただきます。電源コード(ACアダプター)を接続した状態で預けて下さい。それ以前のお預かりはいたしかねます。発表後PC係席にてコンピュータを返却いたします。
- 8) トラブル時のバックアップのため、発表スライドと同じデータファイルをUSBフラッシュメモリに保存のうえ、バックアップ用として会場までご持参下さい。尚、会場に準備するバックアップ用のコンピュータのOSはWindowsですのでMacで作成したプレゼンテーションファイルは正しく表示されない場合があります。

- 9) 発表まで、次々演者席、引き続いて次演者席に着席し、待機して下さい。演者は原則として正面スクリーンに向かって左側、座長は右側の位置になります。
- 10) 発表の際は、講演者ご本人によるパソコンの操作をお願いいたします。
- 11) コンピュータの持込が困難な場合は、会場にてコンピュータを貸出しいたします。貸出し希望の方はあらかじめ後記：会場設営担当(株式会社タスプ)までご連絡下さい。貸出しコンピュータは、OS Windows 10で、プレゼンテーションソフトウェアはMicrosoft PowerPoint 2019となります。データはUSBメモリに保存してお持ち下さい。動画及び音声出力は使用できません。発表スライドをMacで作成された方は、必ずWindowsで動作確認を行ってから保存したデータをお持ち下さい。当日は会場内(試写)受付にて貸出しますので、お名前をお申し出下さい。
- 12) その他、不明な点は、下記の学会運営会社にご相談下さい。

会場設営担当：

株式会社タスプ 獣医学術近畿地区学会担当 (tel : 03-5970-3990, e-mail : info@tasp.co.jp)

令和4年度日本産業動物獣医学会(近畿) 一般講演プログラム

A会場

— 午前の部 — (演題番号 A1 ~ A7)

10:20

開会の辞

近畿地区副学会長 生田 健太郎

10:30 ~ 11:00

座長 巽 俊彰 (三重県)

A1 ビタミンA欠乏を認めた肥育牛群の牛にみられた肺炎

高見 成昭 (大阪府)

A2 京都府における牛アデノウイルス2型浸潤状況調査と分離ウイルスの解析

久保田直樹 (京都府)

A3 肝蛭浸潤農場における駆虫指導と肝機能改善効果確認

畑野 希枝 (和歌山県)

11:05 ~ 11:25

座長 杉江 勇二 (滋賀県)

A4 畜舎周囲消毒のための液状剤自動散布装置の開発

井上 巖夫 (京都府)

A5 フリーストールの一酪農場で発生したヨーネ病の清浄化対策

富田 健介 (三重県)

11:30 ~ 11:50

座長 万所 幸喜 (京都府)

A6 管内一酪農場における乳房炎対策

森内 誠子 (三重県)

A7 管内酪農家における乳房炎ワクチン接種効果

大植 健平 (滋賀県)

— 午後の部 — (演題番号 A8 ~ A10)

13:00 ~ 13:30

座長 前田 恵助 (和歌山県)

A8 公立の乳牛飼養施設における牛伝染性リンパ腫清浄化の取組

石川 翔 (兵庫県)

A9 一酪農場におけるクリプトスポリジウム症清浄化への試み

高橋 和瑛 (大阪公大)

A10 県内養豚場における繁殖母豚の豚熱抗体保有状況調査

戸塚 麻喜 (三重県)

令和4年度日本産業動物獣医学会(近畿)一般講演プログラム

B会場

— 午前の部 — (演題番号 B1 ~ B9)

10:00

開会の辞

近畿地区学会長 川手 憲俊

10:10 ~ 10:40

座長 石川 翔 (兵庫県)

- | | | |
|----|--------------------------------------|--------------|
| B1 | 管内1酪農場におけるエコー定期繁殖検診を活用した繁殖成績改善への取り組み | 黒岩 武信 (兵庫県) |
| B2 | 黒毛和種繁殖農家における発情発見率・妊娠率を用いた繁殖指導 | 谷口 俊仁 (和歌山県) |
| B3 | 和牛繁殖農家の長期不受胎牛を受胎させる試み | 瀧本 誠太 (京都府) |

10:45 ~ 11:15

座長 古山 敬祐 (大阪公立大)

- | | | |
|----|---|-------------|
| B4 | フィールドでの定時授精の効果 | 野口 等 (兵庫県) |
| B5 | 短期間の高栄養飼料の給与が、ウシ卵巢の卵胞数、卵子の品質ならびに体外受精胚生産効率に及ぼす影響 | 石井 利通 (三重県) |
| B6 | ICT技術を用いた子牛疾病早期発見のためのモニタリング装置の開発 | 後藤 悠太 (京都府) |

11:20 ~ 11:50

座長 岡本 隆行 (奈良県)

- | | | |
|----|-----------------------------------|-------------|
| B7 | 排尿不全を示す黒毛和種肥育去勢牛に対する膀胱内超音波画像診断 | 武田 圭生 (兵庫県) |
| B8 | ホルスタイン種子牛にみられた異所性肺組織を伴う二分脊椎症の複合奇形 | 宇崎 敬与 (兵庫県) |
| B9 | 新生子牛でみられた口蓋裂の2症例 | 橋本 憲和 (兵庫県) |

— 午後の部 — (演題番号 B10 ~ B12)

13:00 ~ 13:30

座長 津山 栄一 (大阪府)

- | | | |
|-----|---------------------------------------|---------------|
| B10 | 黒毛和種去勢牛の血中ビタミンA濃度が体脂肪脂肪酸組成に及ぼす経時的影響 | 吉田 恵実 (兵庫県) |
| B11 | 乾乳後期におけるルーメンバイパスアミノ酸製剤給餌効果の異なる2酪農場の比較 | 古山 敬祐 (大阪公立大) |
| B12 | 一時的な飼料摂取制限が乳中脂肪酸組成に及ぼす影響 | 生田健太郎 (兵庫県) |

令和4年度 日本小動物獣医学会(近畿) 一般講演プログラム

C会場

— 午前の部 — (演題番号 C1 ~ C14)

9:00

開会の辞

近畿地区副学会長 真下 忠久

9:10 ~ 9:50

座長 桑原 岳 (大阪市)

- | | | |
|----|---|-------------|
| C1 | 一次診療における猫上部呼吸器疾患の感染状況と <i>Mycoplasma felis</i> に対する治療法の検討 | 上田 剛郎 (京都市) |
| C2 | 内視鏡的処置により良好な経過をたどった鼻咽頭狭窄の猫の一例 | 山下今日子 (京都府) |
| C3 | 猫ヘルペスウイルス1 (FHV-1) 感染性肺炎を生じた猫の一例 | 尾形 真佑 (兵庫県) |
| C4 | 間質性肺炎に続発した自然気胸の猫の一例 | 小山田希充 (兵庫県) |

9:50 ~ 10:30

座長 古家 優 (大阪大)

- | | | |
|----|--|-------------|
| C5 | 糖質コルチコイドを有効成分とする眼科用製剤の投与に起因する犬の眼瞼皮膚炎3例 | 中村有加里 (京都府) |
| C6 | オクラシチニブが著効した過角化型多形紅斑の犬の1例 | 安川 邦美 (京都府) |
| C7 | 濾胞性リンパ腫グレード3の犬の1例 | 長谷 晃輔 (京都市) |
| C8 | リンパ腫が舌に発生した猫の1例 | 辻本 恭典 (大阪府) |

10:30 ~ 11:00

座長 山本 慎治 (和歌山県)

- | | | |
|-----|----------------------------|-------------|
| C9 | ガストリノーマと暫定診断した犬の診断および治療の検討 | 人見 誠 (京都市) |
| C10 | 右腎腫瘍と後大静脈の部分切除術を実施した犬の1例 | 森下 正隆 (大阪市) |
| C11 | 皮膚腫瘍から見つかった腎細胞癌の犬1例 | 村島 生祐 (京都市) |

11:00 ~ 11:30

座長 田端 克俊 (神戸市)

- | | | |
|-----|-------------------------------|-------------|
| C12 | 避妊手術後に年間を通じて持続発情を呈した猫の1例 | 岸野 恭徳 (京都市) |
| C13 | 避妊手術時の異常所見から肺吸虫の腹部寄生が判明した犬の1例 | 今西 貴久 (三重県) |
| C14 | 内閉鎖筋フラップを用いて整復を行った会陰ヘルニアの猫の1例 | 細田 未来 (京都市) |

— 午後の部 — (演題番号 C15 ~ C17)

13:00 ~ 13:30

座長 為近 俊幸 (兵庫県)

- | | | |
|-----|-----------------------------------|-------------|
| C15 | 経時的に凝固活性化マーカーを測定した急性膵炎の犬の4例 | 川原 弘 (大阪市) |
| C16 | イヌ急性膵炎の重症化予知マーカーとしての凝固活性化マーカーの有用性 | 野田 正志 (大阪市) |
| C17 | バルーン・ボタン型胃瘻チューブにより長期管理を実施した犬の1例 | 中西由梨香 (奈良県) |

令和4年度 日本小動物獣医学会(近畿) 一般講演プログラム

D会場

— 午前の部 —
(演題番号 D1 ~ D14)

9:00

開会の辞

近畿地区学会長 秋吉 秀保

9:10 ~ 9:50

座長 作野 幸孝 (奈良県)

D1 鑑別困難な発作症例に対し脳波検査が治療に与える影響

長谷川裕基 (京都府)

D2 脊髄損傷後完全麻痺を呈する犬における運動誘発電位 (MEP) の測定

植村 隆司 (京都府)

D3 運動障害を示した脱髄性ニューロパチーの猫の10例

中本 裕也 (京都市)

D4 5犬種502頭の神経病発生状況調査

中本 裕也 (京都市)

9:50 ~ 10:30

座長 芝 裕輝 (京都市)

D5 脊髄硬膜外に認められた猫の骨髄腫関連疾患 (MRD) の1例

中村 仁 (京都市)

D6 急性の対麻痺/対不全麻痺を呈した特発性脊髄炎の犬3例

左 享祐 (京都市)

D7 積極的な治療介入により長期生存している原発性頭蓋内組織球性肉腫の犬の1例

左 享祐 (京都市)

D8 脳内血腫に対して開頭下で血腫除去手術を実施した犬の2例

坪居 穩佳 (大阪市)

10:30 ~ 11:00

座長 小澤 剛 (京都府)

D9 頭蓋内圧亢進症状を呈する脳腫瘍の症例16例に対して、診断後、救急で5日以内に手術を行った手術成績

井尻 篤木 (大阪市)

D10 環椎軸椎不安定症の犬に対して3Dプリンターを用いて石膏モデルを作成し、行った16症例

山田 寛生 (滋賀県)

D11 後頭骨環椎癒合を伴う環軸椎不安定症のネコの3例

王寺 隆 (大阪市)

11:00 ~ 11:30

座長 松崎壮志郎 (滋賀県)

D12 CT検査により高度に石灰化した多量の椎間板物質を脊柱管内に認めた椎間板ヘルニアの2症例

坂口 裕亮 (奈良県)

D13 猫の排泄に関する問題行動の1例

近藤 悦子 (神戸市)

D14 新入り猫に関連した葛藤行動にミルタザピンを使用した猫の1例

中野 あや (神戸市)

— 午後の部 —
(演題番号 D15 ~ D17)

13:00 ~ 13:30

座長 辻 勝彦 (三重県)

D15 異食により結腸捻転を起こした1例

大谷 祐介 (京都府)

D16 腹腔内索状物により絞扼性イレウスを生じた犬の1例

吉田 愛 (京都府)

D17 総胆管嚢胞を疑う猫の1例

村田 裕史 (京都市)

令和4年度 日本獣医公衆衛生学会(近畿) 一般講演プログラム

E会場

— 午前の部 — (演題番号 E1 ~ E3)

11:00

開会の辞

近畿地区学会長 三宅 眞実

11:10 ~ 11:30

座長 熊井 優子 (大阪府)

E1 兵庫県におけるツキノワグマにみられた *Hepatozoon ursi*

大田 康之 (兵庫県)

E2 三重県における重症熱性血小板減少症候群の疫学調査—日本紅斑熱との比較—

楠原 一 (三重県)

11:30 ~ 11:40

座長 田邊 輝雄 (京都市)

E3 多機関連携を軸とした多頭飼育対策事業

松本 浩樹 (滋賀県)

— 午後の部 — (演題番号 E4 ~ E5)

12:50 ~ 13:10

座長 並河 孝至 (滋賀県)

E4 管内と畜場に搬入された牛における腸管出血性大腸菌の保有状況

水谷敢太郎 (京都府)

E5 牛の畜産物を対象とした残留抗寄生虫薬一斉分析法の検討

平田祥太郎 (大阪府)

令和4年度日本小動物獣医学会(近畿)特別企画
第12回動物看護に関する学術集会プログラム
F会場

(演題番号 F1～F3)

【発表プログラム】

司会進行：中村 陽子 (動物メディカルセンター)
アドバイザー：佐伯 潤 (公益社団法人 大阪府獣医師会会長)

13:00～13:05

開会の辞

13:05～14:30

- | | | |
|----|---------------------------------------|------------------------------|
| F1 | 人とペット両方の健康と安全を守る機能を備えた
防災手帳の作成 | 西村裕子 (千葉科学大学 動物危機管理教育研究センター) |
| F2 | 10年間の入院動物に対する看護計画と看護記録の比較 | 山本明菜 (ダクタリ動物病院 京都医療センター) |
| F3 | 神経病疾患の早期回復を達成する
リハビリテーションプログラムの重要性 | 森 惠 (ダクタリ動物病院 京都医療センター) |

14:35～14:50

開会の辞